

平成31（令和元）年度

全国学力・学習状況調査結果の分析について（中学校）

綾瀬市教育委員会

平成31（令和元）年度全国学力・学習状況調査が、小学校6年生と中学校3年生を対象として、平成31（令和元）年4月に悉皆調査として実施されました。昨年度までは、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を分けて調査していましたが、今回から一体的に問われることになりました。また、教科に関する調査について、「英語」が今回初めて実施され、今後は、3年に1回実施される予定です。本市教育委員会では、同年7月に文部科学省から出された結果をもとに、本市の状況について分析を進めてまいりました。

本調査の実施要領に書かれているとおり、本調査で測定できるのは学力の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえて、調査結果の分析についてご報告いたします。

この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つであると捉え、今後は、この分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

なお、全国平均正答率・全国平均回答率の $\pm 5\%$ の範囲内については、「同程度」と記述しています。

※教科に関する調査の各問題については、QRコードから見ることができます。

◇ 調査の目的

全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【国語に関する調査結果の分析】

平均正答率 68%

全国中学校の平均正答率と同程度です。



国語問題 I



国語問題 II

良好であるところ

- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと【読むこと】問題番号 1三
- 相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること【話すこと・聞くこと】問題番号 2二
- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること【書くこと】問題番号 3一

課題であるところ

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと【読むこと】問題番号 1一
- 封筒の書き方を理解して書くこと【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】問題番号 1四
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと【書くこと】問題番号 3二
- 語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】問題番号 4

全国中学校の平均正答率を下回っています。



数学問題

良好であるところ

- 簡単な場合について、確率を求めることができること【資料の活用】問題番号5
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解していること【図形】問題番号7(1)
- 反例の意味を理解していること【図形】問題番号7(2)

課題であるところ

- 数の集合と四則計算の可能性について理解していること【数と式】問題番号1
- 反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができること【関数】問題番号4
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること【関数】問題番号6(2)
- 資料を整理した表から最頻値を読み取ることができること【資料の活用】問題番号8(1)

全国中学校の平均正答率と同程度です。



英語問題

良好であるところ

- 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができること【聞くこと】問題番号1(1)
- 教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができること【聞くこと】問題番号1(2)
- 文の中で適切に接続詞を用いることができること【書くこと】問題番号9(1)①

課題であるところ

- 聞いて把握した内容について、適切に応じることができること【聞くこと】問題番号4
- 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができること【読むこと】問題番号5(1)
- まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができること【読むこと】問題番号6
- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができること【書くこと】問題番号9(3)②

【生徒質問紙調査の結果の分析】

良好であるところ

主に学校に関して

- 国語の学習は将来、社会に出たときに役に立つと考えていること
- 数学の勉強が好きと感じていること
- 数学の学習は将来、社会に出たときに役に立つと考えていること
- 英語の勉強が好きと感じていること
- 英語の勉強は大切だと思うこと
- 英語の学習は将来、社会に出たときに役に立つと考えていること
- 今回の調査における時間内での解答
- 授業で学んだことを他の学習に生かしている
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること
- 先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれること

- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいること

主に家庭に関して

- 朝食を毎日食べること
- 毎日、同じくらいの時刻に起きること
- 家で自分で計画を立てて勉強をすること

その他に関して

- 自分のよさを自覚していること
- 先生がよさを認めてくれていること
- 将来の夢や目標を持っていること
- 学校の規則を守ること
- いじめはどんな理由があってもいけないと思っていること
- 人の役に立ちたいと思っていること

主に学校に関して

課題であるところ

- 国語の授業で学習したことを普段の生活の中に活用していないこと
- 今回の国語や数学の学習調査で解答を文章で書く問題について、書く努力をしなかったり、途中で諦めたりしたこと
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいないこと

主に家庭に関して

- 平日の学校の授業以外での学習時間

その他に関して

- 地域の行事に参加すること

確かな学力の向上に向けて

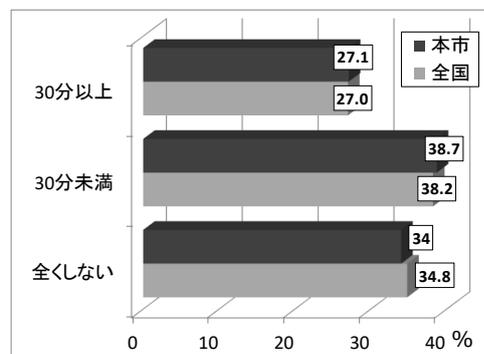
- ☆確かな学力を育む授業を行うために、授業改善と研修の充実を図っていきます。
- ☆教材や教具など、学習環境の整備に努めていきます。
- ☆少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。
- ☆「学習支援者」を配置し、配慮の必要な生徒の学習支援を行います。
- ☆学校の図書室の充実を図ります。
- ☆「あやせゼロの日運動」「あやせ学びづくり運動」「あやせ夜間ゼロ運動～ケータイ・スマホ・ゲーム機等の夜間ゼロ運動～」を推進し、家庭・地域との連携を深めていきます。

ご家庭にお願いしたいこと

読書の充実

平日の読書時間→

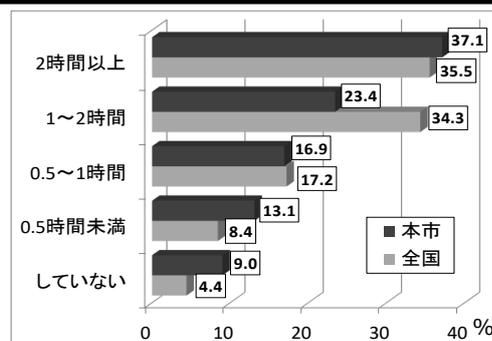
*読書に親しむことは、本の内容を知るだけでなく、読解力や思考力の向上にもつながります。30分以上読書をする生徒の割合は、全国平均と同程度ですが、全く読んでいない生徒も多くいます。子どもたちに読書習慣が身に付くよう働きかけをお願いします。



家庭学習の充実

平日の家庭学習時間→

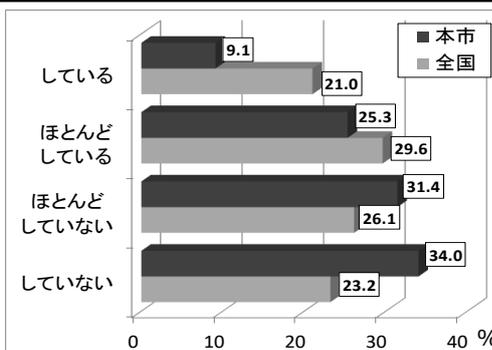
*平日に「30分未満」または「全くしない」生徒が22.1%と、4～5人に1人いるという結果が出ています。お子さまが自分で時間の使い方を見直し、学習の計画を立て、自主的に学習に取り組めるよう、温かい言葉かけや励ましをお願いします。



地域社会への関心や参加

地域の行事への参加→

*地域の問題や出来事に関心を持つこと、地域の行事やボランティア活動に参加することは、変化の激しいこれからの社会で生きて働く力をつけるためにも大切です。ぜひ、ご家庭でも話題に取り上げ、参加の機会を作っていただくようお願いします。



ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。
綾瀬市教育委員会

